



































チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念、経営方針の明文化し、従業員へ説明することで意識の共有に取り組んでいる。 ・日々移り行く新技術や社会情勢など、一人一人が意識し、学び、挑戦し、助け合う社風が形成されている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・日々社内でも情報を共有し、社外研修にも積極的に参加している。 ・関係法令に関し、個々人で学習し、資格、特別教育等取得を推進し、講習会や特別教育の開催予定を共有、参加している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・行動規範を整備、明文化し、社内でも共有している。 ・取引先などに不当な圧力等が無いか定期的に確認している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当役員を任命している。 ・自らの事業活動で社会規範に、環境には改善、汚染と良くも悪くも影響を与えること理解している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・業務上知り得た機密事項、不利益となる事項の漏洩等には細心の注意を払い、社内指導を行っている。 ・退職時、情報漏洩・利用をしない旨の誓約書を作成し、署名・合意を取り交わしている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員、取引業者、下請業者などの情報は施錠可能なところで適切に管理している。 ・勉強会を実施し、個人情報の取扱、管理、処分方法について徹底している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事着工前に近隣へあいさつ回りをを行い、ご理解、ご協力をお願いしている。 ・お客様、近隣住民の方からの声(特に苦情)、アフターサービスは迅速に対応し、コミュニケーションを図り、信頼関係構築に取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先の環境や人材育成・雇用活動に関心をもち、対話に取り組んでいる。 ・CO2排出量削減をはじめとした、地球環境や人権侵害等への配慮など、問題意識の共有に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17


















チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件、及び職場環境において差別、ハラスメントのない体制、運営を徹底している。 ・ハラスメント防止対策責任者を配置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場毎に安全衛生教育、安全パトロールを行い、毎月安全担当役員によるパトロールを行っている。 ・メンタルヘルスを確保するため、恐怖や不安を感じることなく安心して発言、行動できる(心理的安全性のある)職場環境実現に向け社内教育や啓発活動を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員、パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・働き方改革を導入し、残業時間の削減、有給休暇の取得を奨励している。 ・残業時間の管理を行い、その削減のため、業務内容を分業化し、効率化できるソフトを導入している。 ・有給休暇取得のため、従業員同士で情報を共有し、フォローしやすい環境作りを行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・業務上必要な研修、講習の受講を奨励し、経費補助を行っている。 ・事務と連携し、受講漏れがないよう管理している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の健康状態把握、早期発見のため、毎年健康診断を行い、受診費用は会社で負担している。 ・交通事故、熱中症予防等の教育、取り組みを行っている。 ・インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営、昇進・昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・女性、高齢者の雇用をしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・お客様や取引先の打合せにzoom等のウェブ会議システムを導入している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害物質を把握し、適切な管理、及び処理に取り組んでいる。 ・建築資材についてはF☆☆☆☆等規格をクリアした資材を使用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出、把握に取り組み、一部社用車をハイブリッド車としている。 ・社屋照明、物件に取り付ける照明をLED照明とし電力使用量を削減している。 ・建築部門においては、高断熱・高気密等省エネに適合した仕様を標準とし、エネルギー消費量削減に取り組んでいる。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いて温熱効果ガス排出量を算出、把握に取り組む。 ・ハイブリッド車、低燃費車、排ガス規制対応車への切り替えにより、CO2排出抑制に取り組んでいる。 ・アイドリングストップを実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業で使用する資材、事務用品等ではできる限りリサイクル品を使用し、発生するごみについても分別回収を徹底している。 ・事業、及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・生活ごみ、事業ごみ共に分別を徹底し、リサイクルを推進することで環境へ配慮し廃棄物を減らす取り組みを行っている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生紙、裏紙の活用、ペーパーレス化を推進している。 ・建設現場での資材有効利用、ロス削減に取り組んでいる。 ・リサイクル品やリユース品、再生建設資材等の環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を行っている									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所設置のトイレを節水トイレにするなど節水に取り組み、汚水等の適切な処理法を実施している。 ・建築部門において、節水機器を標準仕様とし、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙、裏紙の活用、ペーパーレス化を推進している。 ・リサイクル品やリユース品、再生建設資材等の環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を行っている									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事業所において観葉植物、プランター等を配置している。 ・新築、増改築、外構計画等の壁面緑化や植栽などの提案、その後の定期的なお客様へのヒアリングを通し、緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・ZEH、BELS認証、住宅性能評価、太陽光発電、省エネ機器・設備の導入を推進、実施に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・ごみの分別を徹底し、削減に取り組んでいる。 ・過度な養生や梱包をやめ、再生可能な資材へ置き換えることでプラスチックの使用削減や環境に優しい素材の使用に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			

チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・お客様に対しアンケートを実施し、関係者で共有、活用し、品質の確保に取り組んでいる。 ・サービスを提供する上での安全確保、リスクマネジメントに取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・製品やサービス、施設等においてユニバーサルデザインを提案、建設している。 ・スロープや手すりの設置、段差の解消、通路幅の確保等、バリアフリーを推進、実施している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・建物内装の木質化を提案し、推進、実施している。 ・事業所の打合せ等で使用するテーブル、椅子などを木質化している。 ・使用する木材は熊本県産材を優先的に使用している。							7				12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ZEH、BELS認証、住宅性能評価、太陽光発電、省エネ機器・設備の導入を推進、実施に努め、省エネ、CO2削減など、社会課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。 ・ボランティア活動(古紙回収等)に参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・従業員へハザードマップを周知している。 ・各年度毎に緊急連絡表を配布し、災害発生時等の従業員の安全確認体制を構築している。 ・事業所に防災備蓄、防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・サステナブルなノベルティグッズを紹介するなど従業員に対し、SDGs教育を行い、顧客、協力業者等への、普及・啓発を推進している。 ・各自がSDGsに対する意識を高く持ち、共有している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17